

11月に入りました。夕方、陽の暮れるのが一段と早くなり、秋の夜長の言葉がぴたりくるようになりました。時折、冷たい北風が窓や戸を揺らしてゆきます。少しずつ冬の季節が近づいてきていることを感じます。



## 《 第3支会陸上記録会 》

10月19日木曜日、南アルプススタジアム(陸上競技場)に於いて芦安、八田、白根の3地区の6年生による第3支会陸上記録会が開かれました。普段は各校のリーダーとして先頭に立って頑張ってくれている6年生たちですが、今日は一堂に会し、陸上記録会を通して親睦を深め、日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。当日は、風もない穏やかな絶好の陸上記録会日和となりました。白根百田小の子供たちは、運動会が終わった後から、放課後の時間を使って一生懸命練習してきました。当日は、自分の記録の更新を目指して精一杯陸上競技を頑張る姿を見ることができました。白根百田小の6年生が、1位や上位入賞となる種目が数多くあり、会場も大いに沸きました。練習の際には、南アルプス AC より、清水さん、河野さんが指導に来てくれて、子供たちは、陸上についての専門的なアドバイスをいっぱいいただくことができました。ありがとうございました。



上 開会式の様子 下左 100M走 下右 60Mハードル走

## 《 音楽集会 》

10月27日金曜日、音楽集会を行いました。日ごろの音楽の授業の成果をお互いに聞きあい、みんなで音楽を楽しもうと開かれましたものです。1年生から順番に発表していきました。どの学年も歌や器楽合奏がとっても上手でした。発表が終わるごと体育館いっぱい大きな拍手が響きました。最後は全校で一緒に声と心を合わせてとっても大きな声で合唱を行いました。全校みんなで音楽を楽しんだとても良い集会となりました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



全校合唱

もし

自分が間違っていたと

素直に認める勇気があるなら、

災い転じて福となす

デール・カーネギー

日本の子供たちは、諸外国に比べ、自己肯定感が低いと言われています。大人の皆さんはどうでしょうか。大人の私たち自身も、自己肯定感を高めていきたいものです。

この言葉は、「人を動かす」「道は開ける」など有名な自己啓発書を書いたデール・カーネギーの言葉です。自分は正しいと思ってやったことでも、人から注意を受けることはあります。自分では精一杯やったのに、うまくいかないときもあります。そんな時、もやもやした気持ち、悔しい気持ちを引きずってしまうと、せっかくの（自分を高める）機会を逃すことになってしまうということでしょうか。「やってみないとわからない。」のは世の中の常でしょう。だからこそ、たとえ失敗しても、やった自分をまずほめて、頑張った自分を認めてあげて、そして、未熟だった私を成長させてくれるいい機会だったんだと思うことが、次（福）につながると思うことが大切だと教えてくれているのでしょうか。自分が間違っていたと気づけて良かったと前向きにとらえられる人になりたいと思いました。

小田切英史